

令和7年

春の行楽期の交通安全運動

6月8日（日）～6月17日（火）

根室管内実施要綱

運動の目的

この時期は、各種産業活動が活発化し、交通量が増加することから、交通事故の多発が懸念されます。

このため、地域・職域が中心となり通年運動として展開している「交通安全運動の重点」を中心として運動期間を設定し、各地域や職場において創意工夫を凝らした地域住民の交通安全意識を高める活動を行うとともに、交通ルールとマナーの実践を呼びかけ、交通事故を防止することを目的とします。

運動の進め方

市町・関係機関・団体は、相互に連携を密にして、地域及び組織の実情に即し、多くの住民が参加できるような具体的な実施計画を策定するとともに、各種交通安全活動及び広報活動を通じて、この運動が広く住民に浸透・実践されるように推進します。

セーフティコール

6月6日（金）

年間スローガン

“ ス ト ッ プ ・ ザ ・ 交 通 事 故 ”
～ め ざ せ 安全で安心な北海道 ～

重 点

- 歩行者保護意識の醸成と歩行者のマナーアップ
- 高齢者の安全確保
- 飲酒運転の根絶
- スピードダウンと全席シートベルト着用の徹底
- 乗車用ヘルメット着用などの自転車等の安全利用
- 安全意識の向上

主 催

北海道根室振興局、北海道警察釧路方面根室警察署・中標津警察署、北海道教育庁根室教育局
根室市、別海町、中標津町、標津町、羅臼町、根室地区交通安全推進協議会

歩行者保護意識の醸成と歩行者のマナーアップ

- 運転者は、子供や高齢者を見かけたら、徐行するなど思いやりのある運転をしよう。
- 歩行者は、横断歩道を渡るときは、左右の安全を確認し、夕方からの外出は、夜光反射材の着用に努めよう。
- 信号機の設置のない横断歩道では、歩行者優先を徹底しよう。歩行者と運転者相互の意思疎通を図る「ハンドサインでストップ運動」を行おう。

高齢者の安全確保

- 高齢者の方は、自分の身体機能の変化を理解し、安全な交通行動を実践しよう。

飲酒運転の根絶

- 運転者は、飲酒運転の危険性や責任の重大さをしっかりと認識し、「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」社会を構築しよう。
- 職場では、企業の責任として、アルコール検知器を使用して酒気帯びの有無の確認、ハンドルキーパー運動を展開するなど、飲酒運転の根絶を徹底しよう。
- インターネットから簡単に利用できる「飲酒運転ゼロボックス」を積極的に活用し、飲酒運転に関する情報提供をしよう。

スピードダウンと全席シートベルト着用の徹底

- 運転者は時間に余裕をもち、スピードダウンで安全運転を実践しよう。
- 無理な追越しは大変危険なのでやめよう。また、十分な車間距離を確保するとともに、確実にウインカーを点灯し、周囲に意思表示をしよう。
- 出かけるときは、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートが正しく着用されているか、みんなで確かめよう。

乗車用ヘルメット着用などの自転車等の安全利用

- 乗車用ヘルメットを着用し、夜間には反射器材を装着しよう。
- 自転車は車道が原則で左側通行となり、歩道を通行する場合は歩行者優先を守ろう。
- 交差点では信号を遵守しよう。また、一時停止の標識は守り、必ず左右の確認をしよう。
- 無灯火走行、二人乗り、飲酒運転、運転中にスマホを使用する「ながら運転」などの禁止行為は、大変危険なので絶対にやめよう。

安全意識の向上

- 昼の間もライトをつけるデイ・ライトを行ったり、早めの点灯を行ったりすることで、運転者は交通安全を意識し、他の人にも交通安全を呼びかけよう。
- 「ながら運転」や「あおり運転」などの危険な運転は行わず、思いやり・ゆずり合いの心をもった運転をしよう。
- 運転者は、運転の前日に十分な睡眠をとろう。また、長距離ドライブの時は、あらかじめ2時間おきを目安に適度な休憩を計画しておこう。